

県内の遺跡・遺物 18

ふじ はし 藤 橋 遺 跡

所在地：長岡市西津町字原

国指定：昭和53年10月13日

藤橋遺跡は、信濃川とその支流の渋海川^{しぶみ}西側に形成された段丘面上にあります。遺跡の範囲は舌状平坦部^{へいたんぶ}のほぼ全域に広がっていて、標高は約30～50mです。また、遺跡の南側に近接して、弥生時代の尾立遺跡^{おたて}、旧富岡農学校跡遺跡^{とみおかのうがっこうあと}があります。

発掘調査地区内では、縄文時代晩期の多数の柱穴を発見し掘立柱建物跡7棟が確認されています。柱穴の重複が著しいため確認できた建物は少ないですが、さらに多くの掘立柱建物跡があると考えられます。縄文時代の住居の主流は竪穴住居ですが、藤橋遺跡の場合、掘立柱建物が一般的な住居だったと考えられます。また、出土石製品の中では玉類の存在が注目されます。未成品を含む多数の玉類が採集されていることから、集落で玉作りを行っていた可能性が高いと考えられます。

この遺跡は縄文時代晩期の代表的な集落として、また玉作りの遺跡として貴重であることから、国指定遺跡となりました。現在は、「ふるさと歴史の広場」として掘立柱建物が復元されています。



復元された掘立柱建物

(写真提供 長岡市教育委員会)

お知らせ

NO.19の県内の遺跡・遺物17

『横峯経塚出土品』に掲載いたしました所在地は遺跡のある場所でした。出土したものは：安田町大字保田4807 安田町教育委員会に保管されております。また、NO.15の県内の遺跡・遺物13『木崎山遺跡出土 地鎮具』は、現在、新潟県埋蔵文化財センター展示室に展示されております。

埋文にいがた No.20

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956 新津市金津93番地1
TEL (0250)25-3981
FAX (0250)25-3986
印刷 有限会社 双葉印刷